



2019年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年5月15日

上場会社名 株式会社レッド・プラネット・ジャパン 上場取引所 東
 コード番号 3350 URL http://www.redplanetjapan.com
 代表者 (役職名) 代表取締役 CEO (氏名) ティモシー・ハンシング
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 CFO (氏名) 王生 貴久 (TEL) 050 (5835) 0966
 四半期報告書提出予定日 2019年5月15日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有・無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有・無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第1四半期の連結業績(2019年1月1日~2019年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第1四半期	623	72.6	△88	-	△3	-	2	△99.3
2018年12月期第1四半期	361	25.1	△68	-	△87	-	405	230.3

(注) 包括利益 2019年12月期第1四半期 △50百万円(△107.0%) 2018年12月期第1四半期 711百万円(479.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第1四半期 (注) 1, 2	0.07	-
2018年12月期第1四半期 (注) 1	14.32	12.04

(注) 1 2019年4月10日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

2 2019年12月期は潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年12月期第1四半期	18,027	5,615	30.4
2018年12月期	16,436	4,977	29.7

(参考) 自己資本 2019年12月期第1四半期 5,524百万円 2018年12月期 4,875百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期	-	0.0	-	0.0	0.0
2019年12月期	-	-	-	-	-
2019年12月期(予想)	-	0.0	-	0.0	0.0

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有・無

3. 2019年12月期の連結業績予想（2019年1月1日～2019年12月31日）

2019年12月期の連結業績予想は、現在精査中であります。当該連結業績予想については、今後、取り纏まり次第速やかに開示いたします。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- : 有・無
- 特定子会社には該当しませんが、以下6社が新たに連結対象子会社となります。
- 除外 社 (社名)
- 新規 6 社 (社名) Red Planet Hotels
(Thailand) Limited
Red Planet Hotels Two
(Thailand) Limited
Red Planet Hotels Three
(Thailand) Limited
Red Planet Hotels Four
(Thailand) Limited
Red Planet Hotels Five
(Thailand) Limited
Red Planet Hotels Six
(Thailand) Limited

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有・無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有・無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有・無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有・無
- ④ 修正再表示 : 有・無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年12月期1Q	563,094,874株	2018年12月期	307,570,337株
② 期末自己株式数	2019年12月期1Q	50,100株	2018年12月期	50,100株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年12月期1Q	420,597,809株	2018年12月期1Q	283,053,570株

(注) 2019年4月10日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、ホスピタリティー業界のバジェットホテル分野に引続き経営資源を集中させ、国内およびアジア地域内でホテル資産を継続的に拡大するよう努めております。その具体的な方法として、既存ホテルからの収益および利益率を向上させること、そして新規ホテルを追加していくこと、の両方を目指してまいります。

Red Planetブランドの下で運営されている当社グループのホテルは現代的な外観と雰囲気重視したデザインで造られており、当社グループのホテルを同価格帯の他社ブランドホテルと差別化するために最先端のIT技術を取り入れております。特に、多言語による予約システム、アプリ、ホテルスタッフへの連絡ツールは大きな特色であり、インバウンドの外国人訪問者だけでなく、若い顧客層にもアピールしております。

近年、日本への訪問客の増加が続いていることから、当社グループは主要な日本市場においてホテル資産を拡大することを目指しており、レッドプラネット札幌すすきの中央が2019年9月にオープンする予定のほか、レッドプラネット広島が2020年後半頃にオープンする予定です。これらの新規ホテルは増加する訪日客の宿泊需要に着実に対応していけると予想しております。

当社グループの国内で稼働している5つのホテルはすべて順調に運営されておりますが、ラグビーワールドカップと東京オリンピックの特需を見込んだ新規参入による競争環境の激化に伴い、客室価格は前年同期と比べて伸びませんでした。費用面においてはレッドプラネット名古屋錦の固定家賃の負担等も重くのしかかりました。しかしながら当社グループは、この一時的な費用の増加は、将来の成長のために必要な基盤を築くために不可欠であると認識しております。

当社グループの地域拡大は、当第1四半期連結累計期間にタイのRed Planetホテルを取得したことにより、大きく加速しました。タイで新規に取得したホテルを含めて、当社グループは現在合計10棟のホテル(1,517の客室)を運営しております。現在建設中の国内のホテル2棟に加えて、当社グループはフィリピンに2棟の建設中のホテル(2019年10月にオープン予定のRed Planet Manila The Fort、2020年後半にオープン予定のRed Planet Manila Entertainment City)とタイに建設中の1棟のホテル(2020年末にオープン予定のRed Planet Bangkok Sukhumvit 8)があり、グループが所有または運営するホテルは合計15棟となる予定です。

当社グループのホテル資産拡大の結果、当第1四半期連結累計期間の収益は623百万円(前年同期比72.6%増)と大幅に増加しました。しかしながら、前述の営業費用の一時的な増加、タイのホテル資産の取得に関連する一時的な取引費用等の発生の結果、当社グループは営業損失88百万円を計上しました。なお、タイ事業の取得等取引により為替差益を営業外収益に127百万円計上し、経常損失は3百万円と前年同期から縮小しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高623百万円(前年同期比72.6%増)、営業損失88百万円(前年同期は営業損失68百万円)、経常損失3百万円(前年同期は経常損失87百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益2百万円(前年同期比99.3%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は18,027百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,591百万円増加いたしました。

流動資産は3,072百万円となり、前連結会計年度に比べて1,265百万円減少しております。これは主に、仮払金をタイ事業等取得の対価として振替処理したためであります。

固定資産は14,955百万円となり、前連結会計年度に比べて2,856百万円増加しております。これは主に、タイ事業の取得等取引により取得した建物を建物及び構築物として計上したためであります。

負債合計は12,412百万円となり、前連結会計年度末に比べ953百万円増加しております。これは主に、長期借入金が増加したためであります。

純資産合計につきましては、5,615百万円となり、前連結会計年度末に比べ637百万円増加しております。これは主に、2019年2月20日付タイ事業の取得による第三者割当新株式の発行等により、資本金が2,560百万円増加したこと及び資本剰余金が増加したこと及び親会社株主に帰属する四半期純利益を2百万円計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年12月期の連結業績予想については、現在精査中であるため、記載しておりません。当該連結業績予想については、算定ができました時点で速やかに開示する予定です。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,793,780	2,251,613
売掛金	169,665	172,096
商品及び製品	1,890	4,467
原材料及び貯蔵品	3,357	15,347
仮払金	885,446	—
その他	483,674	630,355
貸倒引当金	—	△1,724
流動資産合計	4,337,815	3,072,155
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	94,075	2,002,930
信託建物及び信託構築物(純額)	1,703,055	1,687,067
信託土地	1,812,286	1,812,286
リース資産(純額)	5,042,750	5,329,729
建設仮勘定	2,200,654	2,387,523
その他(純額)	223,342	273,494
有形固定資産合計	11,076,164	13,493,031
無形固定資産	7,857	11,964
投資その他の資産		
投資その他の資産	1,371,798	1,807,525
貸倒引当金	△357,310	△357,310
投資その他の資産合計	1,014,487	1,450,214
固定資産合計	12,098,509	14,955,210
資産合計	16,436,324	18,027,366

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	39,500	120,917
未払法人税等	31,321	14,586
その他	882,320	685,701
流動負債合計	953,142	821,205
固定負債		
長期借入金	4,138,975	4,828,917
退職給付に係る負債	3,146	9,528
資産除去債務	—	20,349
リース債務	4,885,221	4,935,400
長期前受収益	1,304,994	1,286,973
その他	173,356	509,754
固定負債合計	10,505,693	11,590,923
負債合計	11,458,836	12,412,129
純資産の部		
株主資本		
資本金	482,562	3,043,205
資本剰余金	4,124,915	2,263,145
利益剰余金	406,865	409,739
自己株式	△138,041	△138,041
株主資本合計	4,876,301	5,578,048
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△966	△53,843
その他の包括利益累計額	△966	△53,843
新株予約権	102,153	91,032
純資産合計	4,977,488	5,615,237
負債純資産合計	16,436,324	18,027,366

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)
売上高	361,349	623,842
売上原価	73,251	112,395
売上総利益	288,098	511,447
販売費及び一般管理費	356,139	599,596
営業損失(△)	△68,041	△88,148
営業外収益		
受取利息	4,281	2,053
受取保険金	1,988	—
為替差益	—	127,476
その他	240	8,386
営業外収益合計	6,510	137,917
営業外費用		
支払利息	25,870	45,620
その他	506	7,622
営業外費用合計	26,377	53,243
経常損失(△)	△87,907	△3,474
特別利益		
固定資産売却益	1,219,152	—
新株予約権戻入益	—	10,325
特別利益合計	1,219,152	10,325
特別損失		
固定資産除却損	—	213
違約金	178,309	—
和解金	37,000	3,240
繰上返済精算金	105,327	—
特別損失合計	320,636	3,453
税金等調整前四半期純利益	810,608	3,396
法人税等	99,169	522
四半期純利益	711,438	2,874
非支配株主に帰属する四半期純利益	306,132	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	405,306	2,874

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)
四半期純利益	711,438	2,874
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	—	△52,877
その他の包括利益合計	—	△52,877
四半期包括利益	711,438	△50,003
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	405,306	△50,003
非支配株主に係る四半期包括利益	306,132	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年2月20日付で、Red Planet Hotels Limitedから第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、当第1四半期連結累計期間において、資本金及び資本準備金がそれぞれ2,535,245千円増加しました。

また、2019年2月20日付でRed Planet Hotels (Thailand) Limited、Red Planet Hotels Two (Thailand) Limited、Red Planet Hotels Three (Thailand) Limited、Red Planet Hotels Four (Thailand) Limited、Red Planet Hotels Five (Thailand) Limited、Red Planet Hotels Six (Thailand) Limitedを株式取得したことに伴い資本剰余金が4,422,413千円減少しました。

これらの結果、当第1四半期連結会計期間末において資本金が3,043,205千円、資本剰余金が2,263,145千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資をその他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、ホテル事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。